

ふるさと  
地球の絶景  
プロジェクト



畳ヶ淵

おうちで  
ピクニック♪

動画はこちら



# 火山の大家族が育む萩の農作物



約40万年前の噴火でできた山口県阿武町の伊良尾山は、大量の溶岩（玄武岩）を流しました。溶岩流は谷を埋めるように流れて冷え固まり、多角柱状の割れ目ができました（柱状節理）。あぶちょう いらおやま げんぶがん 豊ヶ淵では河床に柱状節理が広がっています。ちゅうじょうせつり たみがふち

伊良尾山と同様の小型火山が萩市と阿武町の約50ヶ所に分布しています（阿武火山群）。溶岩の上は平らで日当たりと水はけが良く、ミネラルが豊富な火山性土壌が広がり、野菜や穀物、果物の栽培が盛んです。溶岩や火山灰の地層は水を吸い込みやすく、火山の麓から湧き出すため、稲作も盛んにおこなわれています。萩の多種多様な農産物は小さな火山が支えているのです。あぶ

